



勝高だより

立校部 A
行 県 学
発 田 等
秋 勝 高 修
雄 研 P T

祝卒業



押切順三氏からの手紙

校長 佐藤 緑

先日秋田県立図書館から借り受けた書籍の中に、『詩人・押切順三(全)』を見つけた。押切氏は本校校歌の作詞者である。中には本校や雄勝中学校の校歌を始め、数多くの作品が掲載されていた。ページをめくると本校校歌に続けて、作詞のポイントと『雄勝高校への手紙』があった。

この詞の主題は、雄勝野の風光です。原始からの永遠の水の流れ、突出し折り重なる山なみ、木木の緑が醸し出す清冽な気流、いわば俯瞰的雄勝野の描写です。そしてさわやかな樹脂を吐いてすつくと立つ杉の木、その剛直で自立の姿勢を、この雄勝高校に学ぶ若ものたちになぞらえてみました。

(一部抜粋)(一九七九年)

残念ながら手紙の現物を発見することはできなかったが、押切氏がいく美しさをこの校歌に歌い継いでほしいという願いがこもった文面を読み、改めて歌詞を読んだ。

本校の校歌は三連、十行というシンプルなものである。第一連で

卒業にあたって

生徒会長 山口 拓



三年間を振り返ってみると、本当に様々なことがあり、多くの貴重な経験をさせていただいたと思います。

三年前の春に入学した時には右も左も分からない私たちに上級生の先輩たちは、とても優しく、気さくに接して下さいました。学校生活について教えていただいたおかげで、いち早く学校に馴染むことができた。今では感謝の気持ちでいっぱいです。

一年生になり、後輩たちが入学して、学校での役割や責任も重くなりました。行事でも活躍の場が増え、少しずつ自分たちが中心となっていくという意識が芽生えてきました。

いよいよ三年生になり、最高学年としての自覚が確実なものになりました。運動会や球技大会では、「さすがは三年生だ」というプレーと団結力を見せてくれました。

また部活動でも、毎日の練習の成果を示した活躍をして、学校を盛り上げてくれました。

十月の勝高祭は、展示場所など昨年までとは異なる形で実施しました。その際はアイディアを出し合い、先生方や全校生徒の協力を得て準備しました。そのおかげで無事成功裏のうちに終えることができました。

在校生の皆さんには、これまで受け継がれてきた本校の伝統を引き継ぐとともに、新しい本校のあり方を考え、より充実した学

三年部職員より

学年主任 渡邊 潤子

君たちがこの世に誕生したのは奇跡だ。人は皆、天から何らかの使命を与えられて生まれてくるのだと言います。孔子は五十歳の時、自らの「天命」を知り「仁」を説いた。

「心」は目に見えない。しかし、心ある言動は、相手の凝り固まった心をも溶かし、そこから温かく豊かな交流が生まれ、大きな流れを作っていく。だから、自分も他者も大切に思い「自分探しの旅」を続けてほしい。そうすれば「生きていて良かった」「このために私は生まれてきたのだ」と思える幸せな日々が来るはずだから。

「卒業おめでとう」

副主任 藤川 智義

卒業おめでとう。就職する人はもちろんですが、専門学校へ進学する人もこれからは社会人として扱われます。「知りませんでした」、「聞いていませんは通用しません。理不尽なことも多々あるでしょう。高校時代がいかに楽であったか実感することでしょう。今までのように親や学校があなたの方を守ってくれることはありません。これからはすべて自己責任で生きていかなければいけません。頑張ってください。

三A担任 佐藤 亜樹子

私にとつてこの三年間はあつたという間に過ぎてしまいました。その間、皆さんの成長を間近に見ることができ、担任として達成感を感じています。皆さんを叱咤激励する日々も終わります。

この学び舎から巣立させることに一抹の不安と寂しさを感じますが、この後の人生を正しい判断と選択をして過ごしてくれることを期待しています。何かあったらいつでも

校生活を送られるように願っています。

本校で学び得たものを活かし、これまで支えてくださった皆さんに感謝をして、これから頑張りたいと思います。三年間本当にありがとうございました。

頼ってください。励ますことと叱つてやることはいくらでもやりますので。

三A副担任 高橋 智也

就職する人・進学する人、それぞれ小中高十二年間の学校生活を終えます。この時間が、幸せな時間だったことに、未だ気づけない人も多いかも知れません。自分の二十七年前を振り返ってもそうでした。

これから先、起こることは今まで経験したことのない出来事ばかりだと思えます。そのとき、この学校生活の時間がとても貴重で、幸せだったと気づくかも知れません。しかし、もう過去には戻れません。出会った出来事一つ一つに真摯に、大切に、逃げずにぶつかり、乗り越えて欲しいと思います。

力になれる事は少ないかもしれませんが、皆さんのことを応援しています。

三B担任 三森 朋恵

「卒業おめでとう」

時に励まされ、時に戦いながら、自分の人生を歩んでいくください。

三B副担任 高橋 潤

卒業おめでとう。人生の修行をまた一つ終えました。途中でさまざまな苦労や辛さがあったと思いますが、最後までやり通した経験は次の新たな修行に向かう時に大いなる自信となるはずです。そこで皆さんに饒はなむけの言葉を贈りましょう。

その一「反省をしっかりと、後悔はしないこと」

その二「辛さから逃げずに立ち向かうこと」

その三「早目の取り組みで成功させること」

その四「期日を守り、約束は必ず果たすこと」

その五「親離れの時近し、逞(たくましく)生きる」

「辛」という漢字に「希ぼう」という棒を一本足せば「幸」という漢字になる。ラジオCMのセリフから寸借「いいね」にワンクリック。

三年生にアンケート 高校生活をふりかえって

Q1. 高校生活の一番の思い出は何ですか

- 第一位 修学旅行
- 第二位 球技大会
- 第三位 部活動
- 第四位 休み時間
- 第五位 勝高祭

Q2. 自分はこの三年間で成長したと思いますか

Q3. Q2で「はい」と答えた人についてどんな点が成長したと思いますか(主なもの)

- 相手を思いやることができるようになった。
- 行動力や発言力を身につけた。
- 学力や体力がついた。
- 礼儀やルールを学んだ。
- 人前で話せるようになった。
- 考え方が成長した。
- 当たり前のことが当たり前にできるようになった。
- 色々な経験ができた。
- 感情を抑えることができるようになった。

Q4. Q2で「いいえ」と答えた人はなぜそう思いますか

- 期限を守れるようになった。
- 忍耐力や向上心がついた。
- 継続力がついた。

Q5. 後輩へのメッセージをお願いします(主なもの)

- 悔いのない学校生活を送ってください。
- 短い高校生活、一つ一つを大切に過ごして下さい。
- 勉強、ボランティア、部活動に力を入れて下さい!!(きつと役に立ちます)
- 今のうちに常識を身につけてください。
- 協力して頑張ってください。
- これからも応援しています。
- 進路はなるべく早く決めてください。
- 何事にも焦らずに。
- たくさん学んでください。
- 友達の事を大切に。
- 楽しんだ者勝ち。